

祈りの友 第172号

2020年 3月

会長ビデオから

ルカ 11：1-13

私たちにも祈りを教えてください

リース・カウフマン



祈りについて私が好きな聖書の書のひとつはルカ書です。たくさんの方が10章、11章、18章に書いてあります。これらのすべては祈りの主題、過程、戦略（ストラテジー）についてたくさんの方を私たちに教えてくれます。

11章で、特に私がおなたに指摘したいことは主が祈っておられることです。それは主がある離れた場所に行って祈っておられたと語っています。主は毎朝、祈るためにその場所に行かれたに違いありません。弟子たちは主を捜して、主が祈っておられるのを見たのに違いありません。その時、彼らは言いました。「主よ。私たちにも祈りを教えてください。」

11章はそのように始まっています。11章を通読すると、主は弟子たちに語り、主の祈りの短縮バージョンを与え、祈りの方法について、その緊急性と祈り続けることの重要性について語られました。

「あなたがたのうち、だれかに友だちがいるとして、真夜中にその人のところに行き、『君。パンを三つ貸してくれ。

友人が旅の途中、私のうちへ来たのだが、出してやるものがないのだ』と言ったとします。

すると、彼は家の中からこう答えます。『めんどろをかけないでくれ。もう戸締まりもしてしまったし、子どもたちも私も寝ている。起きて、何かをやることはできない。』というところを読み続けると、8節ではこのことについて語っています。聖書は、彼はたたき続けたので、やめなかったもので、やめようとしなかったもので、何が起きたのでしょうか。「彼は友だちだからということで起きて何かを与えることはしないにしても、あくまで頼み続けるなら、そのためには起き上がって、必要な物を与えるでしょう。」（8節）

それが聖書全体を通して教えている主題（テーマ）です。…根気強い、継続する、絶え間ない祈り…この後、主は「だれであっても、求める続ける者は受け、捜し続ける者は見つけ出し、たたき続ける者には開かれます。」と言っています。何とすばらしい章でしょう。主は私たちにやめなないで、求め続け、捜し続け、たたき続けるようにと語っておられます。

主は続けて言っています。「あなたがた父親は悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求め続け、捜し続け、たたき続ける人たち

に、どうして良いものを下さないことがありましょう。」

私が自分自身に問い続ける必要があることの一つは、「リース、あなたは求め、捜し、たたいていますか」ということです。これらは継続を表わす動詞です。あなたは求め続ける必要があります。

この教えは18章でも、来続け、頼み続ける根気強いやもめの祈りに神さまが答えて下さることを通して描写されています。

この聖書の箇所について最後に私が指摘したいことがひとつあります。ここで何かあることを言っているからです。ところで同じ箇所がマタイでも教えられています。求めること、捜すこと、たたくことについて話しています。けれどもルカのこの特別な箇所ではこう言っています。「天の父が、だれでも求める人、だれでも捜す人、だれでもたたく人に、どうして聖霊を下さないことがありましょう。」

それは聖霊について言っているので興味深く思えます。言い換えると、あなたや私は絶えず祈りで神さまの御前に行き、私たちに必要な助けを求めることができます。私たちは求めることができ、捜すことができ、たたくことができます。どうしてでしょう。神さまは私たちに聖霊を下さないことがあるのでしょうか。あなたがあなたの生活に、あなたの心にご聖霊を持っているなら、他にどんな必要があるでしょうか。他に何をあなたは必要としますか。

私たちが神さまに求め、助けを捜すとき、私たちは私たちの生活に恵みを捜し、私たちの生活に聖霊の働きを見ることができ、私たちの生活に力と導きを捜します。

このことは絶えず私に次のことを気づかせます。「あなたは祈りました。リース。でもやめてはいけません。あなたは求めました。捜しました。たたきました。でもやめてはいけません。求め続けなさい。捜し続けなさい。たたき続けなさい。神さまは答えてくださるから。」あなたがこの聖書の箇所を考えると、神さまがあなたを祝福されますように。

(国際CEF会長)

日本CEF(日本児童福音伝道協会)

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL 0299(28)2031 URL:<http://www.cef.or.jp>

FAX 0299(28)2028 Eメール japancef@cef.or.jp

振替 00160-1-59313

(宗) 日本児童福音伝道協会